



## ●医学生向け冬の病院見学プログラムの開催が決定しました

10月31日、8月に開催した夏の病院見学プログラムの振り返りを行いました。春の見学プログラムの振り返りを行ったときは時間の変更等を行いました。夏の見学プログラムでは特に問題はなかったため、タイムスケジュールは現行のままとなりました。診療科が見学プログラムの事をあまり把握しておらず学生も困惑した事があったようなので、診療科への事前周知や当日の学生のスケジュールを伝える等、病院側・事務側で工夫出来ることはやっていこうと思います。

1回のみで開催で定員10名と限りがありますが、学生の皆様に参加いただき、当院をアピールできればと思います。年末の忙しい時期となっておりますが、診療科の皆様にもご協力いただけますと幸いです。



## 冬の病院見学プログラム日程

### 第1回 12月25日(水)～26日(木)

## ●人工呼吸器ハンズオンセミナー

11月6日の救急オープンセミナーでは、人工呼吸器ハンズオンが行われました。人工呼吸器は3台あったので、2年次1つ、1年次2つのグループに分かれ、それぞれのレベルに合わせた講義を受けました。まずは人工呼吸器のモードの種類・グラフィックの見方について説明を受け、その後に実際に触りながらモードの違いや波形の違いを学びました。次に症例を使って人工呼吸器の初期設定・調整を行ったり、トラブルシューティングについて学びました。





## ●小児科・産婦人科研修

当院の研修プログラムでは、2年次に小児科2週間・産婦人科2週間をローテートする事が必須となっております。(来年度採用の研修医はそれぞれ1ヶ月が必須研修となります) 自由選択期間では、1・2年次関係なく選択する事も可能です。

11月は、右記の通り3名の先生方が小児科・産婦人科で研修を行いました。前半にローテートした診療科の研修についてコメントをいただきましたので、写真とともにご紹介します。

期間	小児科	産婦人科
11/1~11/17	福見 Dr. (2年次)	安藤 Dr. (2年次)、神戸 Dr. (1年次)
11/18~11/30	安藤 Dr. (2年次)	福見 Dr. (2年次)、神戸 Dr. (1年次)

### 小児科

小児科では朝、夕にカンファ・回診を行っております。科全体で方針を相談することで患者さんにとってよりよい医療を提供できるようになっております。チームで患者さんをみており、一人休みになっても回るようなシステムができております。学んだこととしては、患者さん本人はもちろん、親との関係性の構築の方法です。当院の救急外来では小児も研修医がファーストタッチすることが多く、成人とは違ったアプローチも要求されます。そういった部分にこれまで不安がありましたが、小児科ローテをすることである程度は自信になりました。(福見)



選択期間として産婦人科を1ヶ月間ローテートしました。産婦人科の分野は非常に多岐にわたります。僕は主に手術見学をしたかったので、非常に多くの手術に参加させてもらい、縫合などの指導を頂きました。また、経膈分娩や帝王切開を問わず産婦人科の醍醐味とも言える分娩にも多数立ち会わせて頂き良い経験になりました。各先生方に丁寧にご指導頂き、有意義なローテーションを過ごすことが出来ました。ありがとうございました。(神戸)



産婦人科では、出産、婦人科手術などを主に学びます。医師国家試験やポリクリでもある程度の知識は得ていましたが、実際により深く患者さんと関わることで妊婦の周産期の対応やがんを含めた婦人科疾患の治療や問題点について学ぶ事が出来ました。(安藤)



## ●放射線診断科研修

放射線診断科では、CT・MRI 中心の画像診断や切らずに治す IVR 治療などが研修できます。CT・MRI は根本的に見ているものが違うので画像の特長や違いがわかるようになります。全科からの依頼があり様々な画像を目にするため、1ヶ月の研修が終わる頃には、画像に対する苦手意識がなくなります。11月は2年次の先生2名がローテートしました。研修の感想を写真とともにご紹介します。



放射線診断科では、主に院内で撮像されたCTやMRIの読影を行います。書籍や過去の読影履歴を参考としながら所見を作成し、上級医に添削してもらいます。所見に誤りがあった場合や希少な症例があった時に直接レクチャーを受けることができ、日々学びが多いと感じています。将来どの診療科に進むにしても画像の読影が必要となることが多いので、2年目で研修するのにおすすめです。(永山)

放射線診断科では初期研修医は、実際に撮像された症例を読影し、所見をつけそれに対して上級医の方からフィードバックを受けるという実践に即した研修を行います。気軽に相談できるという環境もあり、1日単位で経験を積むことができ、大変勉強になりました。またIVRに参加させて頂き、実際の治療を経験させて頂き、症例が豊富な当院において、初期研修医にとっては有意義な研修でした。(出田)

